

第1回ICTドリームスクール懇談会

平成26年6月6日

懇談会の開始にあたって～教育とICTについて～

構成員 三鷹市長 清原慶子

1. 教育とICTの関係(情報リテラシーの多義性)

- ◇ 授業にICTを利用する
 - ◇ ICTの利用方法・利用技術を教育する、学習する
 - ◇ ICTによって入手する「情報」の内容を理解し利用する方法を教育する、学習する
 - ◇ 人間関係・コミュニケーションにICTを最適に利用するために、ICTを利用する際の法律、倫理、ルール、マナーを教育する、学習する
- ⇒ 多義的な「情報リテラシー」を習得するための教育の在り方が問われている

2. ICTが社会のインフラとなっている社会での「公平な教育機会」を保障する必要性

- ◇ 地域・世帯年収を問わない学習機会の提供を
- ◇ 各児童生徒、学習者の学習進捗度に即応した学習環境の整備を
- ◇ 学習機会の随時性の保障を
- ◇ 障がいのある児童生徒の教育支援の充実を
- ◇ 学習環境における情報バリアフリー(ICTのユニバーサルデザイン)の実現を
- ◇ 人権侵害が起こらないようなICT利用環境の整備を

3. 三鷹市の事例から

- ◇ コミュニティ・スクールを基盤とする小中一貫教育の全市展開
小学校中学校を合築しない、別校舎でのカリキュラムの統合と児童生徒・教職員の交流、保護者及び地域住民の参画
- ◇ 「特別支援教育」をすべての子どもを支える「教育支援」と位置付ける
- ◇ 学習環境調査から：学力と家庭教育の密接な関連性、読書の意義、メディアとの関係等
- ◇ 「学びのスタンダード」の取り組みを開始
- ◇ 地域SNSでの「かきしび(家庭教育支援部会)」での保護者及び地域支援者のNW

4. 家庭教育、学校教育、地域等の支援を結ぶICTの在り方を考える必要性

- ◇ 家庭教育とICT(自助)：家庭での学習環境の整備と学習進捗度の把握と支援の向上
- ◇ 学校教育とICT(公助)：学習環境の整備による学力向上と教師の指導力の向上
- ◇ 地域での教育とICT(共助)：学習環境の整備による学力向上と地域の学習支援力の向上
- ◇ 民間の教育機会とICT(民間教育機関)：家庭教育、学校教育での教材支援や学習支援
⇒「学びの連携」による主体的自律的な学習の保障と学力、コミュニケーション力、社会力、人間力の向上を目指して、保護者、教師による児童生徒の学びの支援に生かす方向性

5. 今後の検討の方向性

- ◇ 児童生徒の学力、コミュニケーション力、社会力、人間力の向上に資するICTの在り方の検討
- ◇ コストパフォーマンスを含めて、継続性、汎用性、波及効果を検証するモデルの提起
- ◇ 結果として、国際的にも提案できる教育とICTの在り方の提示